

メゾ・ソプラノ
古澤 真紀子
賛助出演

テノール
中井 亮一
賛助出演

ソプラノ
姫野 成美
浜松市出身
磐田市在住

ピアノ
渡辺 まどか

ピアノ
田村 ルリ

藤原歌劇団の歌い手による

第1回

指揮
佐藤 宏

司会・構成
高橋 和恵

華麗なる 歌の響宴

2025

6/8 (日)

[ゲスト出演] 浜松ライオネット児童合唱団

(前売り)一般:4,000円/高校生以下:2,000円

(当日)一般:4,500円/高校生以下:2,500円

13:30 開演 (13:00 開場)

浜松アクトシティ中ホール

主催:オペラ・ブリッランテ

〒430-7790 静岡県浜松市中央区板屋町111-1

後援:FM Harol、(公財)浜松市文化振興財団、静岡新聞SBS

JR 浜松駅より約5分
アクトシティ浜松中ホールへは、JR 浜松駅前・地下バスターミナル広場からの
アクトシティ連絡地下通路が便利です。

お問い合わせ:有限会社マイス/オペラブリッランテ事務局:TEL(0538)34-6428



プロフィール

姫野 成美 (ソプラノ)

Narumi Himeno

浜松市出身。浜松市立高等学校卒業。武蔵野音楽大学卒業。武蔵野音楽大学大学院音楽研究科声楽専攻修了。大学院在学中、福井直秋記念奨学金を受ける。日本オペラ振興会第19期オペラ歌手育成部修了。オペラ歌手育成部修了公演「サンドリオン」ノエミー役、和光市民オペラ「愛の妙薬」ジャンネット役、文京区文化振興財団主催「椿姫」フローラ役、オペラグループチャムジカ主催「ラ・ボエーム」ミミ役、朝霞オペラ振興会「魔笛」侍女1役、浜松市民オペラ合唱団主催「椿姫」ヴィオレッタ役、Le Voci 主催「椿姫」ヴィオレッタ役、東京室内歌劇場主催「ヘンゼルとグレーテル」ヘンゼル役、すみだオペラ「ラ・ボエーム」ムゼッタ役、三河市民オペラ「トゥーランドット」侍女役等のオペラに出演。その他 リサیتال、浜松交響楽団との共演、図書館コンサート、ソルファ・ヴェルデコンサート等多くの演奏会に出演。1998年日本クラシック音楽コンクール全国大会一般の部入選。2003年大曲新人音楽祭優秀賞（声楽部門第一位）受賞。2003年飯塚新人音楽コンクール入選。2013年日本トステ協会マスターコース受講。ディプロマの称号を授与される。大月美保子、安居史恵子、J.ロイブル、E.オプラスツォワ、高橋和恵の各氏に師事。現在、藤原歌劇団正団員。磐田市在住。



佐藤 宏 (指揮)

Hiroshi Sato

国立音楽大学作曲科卒業。在学中より東京室内歌劇場において指揮活動を始める。その後、日本オペラ振興会、新国立劇場、東京二期会をはじめ数多くのオペラ公演で合唱指揮を務めるなど、長年に亘り日本のオペラ界を担う存在として広く活躍する。国立音楽大学大学院にて教鞭を執り、東京二期会オペラ研修所、日本オペラ振興会オペラ歌手育成部でも若手の歌手を指導して、第一線で活躍するオペラ歌手を世に送り出して来た。また、プロ、アマチュア共に多くの合唱団を指揮し、宗教曲からポピュラーまで幅広いジャンルでの自由かつ新鮮なアプローチで好評を博している。一方、作曲にも力を注ぎ、主な作品には「レクイエム」「少年合唱のためのミサ曲」「はくらの詩が歌声に」シリーズ等の合唱曲、「あめのいとをつむいで」「月」「夢のそばで」等のソロ歌曲があるほか、自ら作詩も手掛けた「ありがとう」は全国各地で歌われ、楽譜も重版となるなど多くの人々に愛されている。日本オペラ振興会オペラ歌手育成部講師。藤原歌劇団団員。



中井 亮一 (テノール)

Ryoichi Nakano

名古屋芸術大学声楽科首席卒業、同大学院修了。03年「椿姫」アルフレード役で姫野成美女史と共演（浜松市）。05年に渡伊、08年ミラノ・スカラ座音楽院オペラ研修所修了。スカラ座、フェニーチェ歌劇場、RossiniOperaFestivalなどイタリア各地で活躍。帰国後は藤原歌劇団の主役級テノールとして「ドン・ジョヴァンニ」「魔笛」「セビリアの理髪師」「ランスへの旅」「夢遊病の女」「椿姫」「ホフマン物語」「ファウスト」「夕鶴」など40作品以上のオペラに出演。22年には新国立劇場本公演に「愛の妙薬」(ネモリーノ役)で主演デビューを果たし、その後も24年の同劇場制作による高校生向け公演「ドン・バスクワレ」(エルネスト役/京都)に出演した他、A.シラゲーザ、M.ミロノフなど世界的歌手のカヴァーキャストを務めている。また「メサイア」「第九」などの独唱、各種学校アウトリーチ、男声合唱指導、Nコン審査員など幅広く活躍中。CD「日本の心を歌う」(レコ芸誌準特選)発売中。山口県芸術文化振興奨励賞受賞。同県平生町イタリア〜ひらお観光大使。昭和音楽大学、桜美林大学各非常勤講師。名古屋二期会研修所講師。日本オペラ協会会員。藤原歌劇団団員。



古澤 真紀子 (メゾ・ソプラノ)

Makiko Furusawa

東京音楽大学声楽科卒業。(公財)日本オペラ振興会オペラ歌手育成部修了。メゾソプラノに転向後、オペラ「蝶々夫人」スズキ、「カルメン」タイトルロールおよびメルセデス、「フィガロの結婚」ケルビーノ等に出演。学校鑑賞会(文化庁委託公演)には「魔笛」侍女I・侍女IIで出演。藤原歌劇団公演には「蝶々夫人」ケイト、「清教徒」エンリケッタ、「ジャンニ・スキッキ」ゾイータ等で出演。日本オペラ協会公演には「紅天女」しじま、「源氏物語」藤壺で出演。各種コンサートその他に宗教音楽では、バッハ「マタイ受難曲」「ミサ曲短調」「クリスマス・オラトリオ」、モーツァルト「レクイエム」、デュリュフレ「レクイエム」等のアルトソリストとして活動の場を広げている。第5回全国「叱られて」歌唱コンクール優秀賞(第2位)。安達さおり、河野めぐみ、成田絵智子、高橋和恵の各氏に師事。藤原歌劇団団員。日本オペラ協会会員。埼玉オペラ協会会員。



田村 ルリ (ピアノ)

Ruri Tamiya

国立音楽大学器楽学科ピアノ専攻卒業。ピアノを稲葉典子、永井宏の各氏に師事。在学中から合唱ピアニストとして全国各地の音楽鑑賞教室に参加する。また稽古ピアニストとして様々なオペラ公演に関わる他、声楽、合唱、器楽のコンサートへの出演も多い。これまでに国立音楽大学大学院オペラ科、尚美学園大学大学院、二期会オペラ研修所、日本オペラ振興会育成部のピアニストをつとめた。2023年より東京から八ヶ岳南麓に拠点を移す。



渡辺 まどか (ピアノ)

Madoka Watanabe

東京藝術大学音楽学部ピアノ科卒業。日本オペラ振興会オペラ歌手育成部にピアニストとして参加。オペラ歌手を育てる仕事を今も継続している。また、日本オペラ振興会を中心に、多数のオペラ公演の稽古ピアニストを務める。新国立劇場でも、創立時(オープニングでのアイダ公演)から2003年迄(奇しくも最後に関わった公演もアイダ)、同劇場主催のオペラ公演の音楽スタッフを務める。一方、声楽、合唱、器楽の伴奏ピアニストとしても広く活躍。ハーブの演奏にも取り組み、新たな音楽世界を開拓している。2022年12月、脳梗塞で倒れる。リハビリをしながら演奏活動を再開。日本オペラ振興会育成部講師、藤原歌劇団団員。



高橋 和恵 (司会・構成)

Kazue Takahashi

声楽家(ソプラノ)。18・19世紀イタリア音楽研究者。ドニゼッティ研究所代表責任者。横浜市出身。洗足学園大学声楽科卒業。(公財)日本オペラ振興会オペラ歌手育成部第3期研究生修了。イタリア文化会館語学研修員および第1回文化庁派遣演奏家として渡伊。G.バルプラン、B.ザノリーニ共著「ガエターノ・ドニゼッティ〜ロマン派音楽家の生涯と作品」(昭和音楽大学出版、ショパン社発売)を翻訳。2012年、ドニゼッティの日本初本格的な研究機関「ドニゼッティ研究所」をWeb Site上に開設(<https://studio-donizetti.jp>)。ロッシーニ協会、二期会イタリア歌曲研究会、大学他での講演・講座、展示会、演奏・教育活動などを通して、イタリア音楽の普及に努める。公益財団法人日本オペラ振興会・藤原歌劇団本公演や新国立劇場のプログラムの執筆、ほか、神奈川新聞文化面のコラム、CDのリーフレットなども執筆。現在、公益財団法人日本オペラ振興会オペラ歌手育成部講師。藤原歌劇団団員。ロッシーニ協会会員。



曲目

小林 秀雄作曲 「すてきな春に」/「落葉松」
モーツァルト作曲《フィガロの結婚》より アリア「恋とはどんなものか」
プッチーニ作曲 《蝶々夫人》より アリア「ある晴れた日に」/「花の二重唱」
ドニゼッティ作曲《愛の妙薬》より アリア「人知れぬ涙」
プッチーニ作曲 《ジャンニ・スキッキ》より アリア「いとしのお父様」